



学生チア日本一競う

選手権大会 名古屋で初開催

大学生のチアリーダー「全日本チアリーダーディング日本一を競う」選手権大会（日

華麗な演技で会場を沸かせた愛知淑徳大の「RANGERS」
名古屋・笠寺の日本方
インホールで

本チアリーダーディング協会主催）が二十三、二十四両日、名古屋・笠寺の日本ガイシホールで開かれた。

大会は二十九回目で、名古屋での開催は初めて。全国各地から

百四十五チーム、千八百人が参加し、二分三十秒の間に元気さや技の正確性や難易度を競い合った。

各チームは赤や青などの鮮やかな衣装を身にまとい、「レッツゴー！」と元気な掛け声とともに、ジャンプしながら両脚を水平に伸ばしたり、ピラミッドをつくったりと迫力のある演技を披露した。

米国発祥のチアリーダーディングは他のスポーツを応援するだけでなく、一九八〇年代に競技スポーツとして全米に広がった。日本でも八八年に大会が初めて開催され、近年は小学生にも人気が広がっている。

県内では、愛知淑徳大（名古屋市千種区）のチーム「RANGERS」が決勝に進出。帝京大（東京都）のチーム「BUFFALO S」が優勝した。
（竹谷直子）

2017年12月25日（月）中日新聞12面より
この記事は中日新聞社の承諾を得て転載しています。